/inritsu

クイックリファレンスガイド

MT1000A/MU100010A

ネットワークマスタ プロ

第5版



- ・製品を適切・安全にご使用いただくために、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。
- ・本書に記載以外の各種注意事項は、MT1000A/MU100010A
 ネットワークマスタ プロ取扱説明書に記載の事項に準じますので、そちらをお読みください。
- ・本書は製品とともに保管してください。

ネットワーク マスタ プロには, 機器とテスト アプリケーションを操作するためのタッチパネ ルが装備されています。

機器の電源がオンのとき、電源ボタンはメニュー ボタンとしても機能します。

電源は, 交換可能な充電式 10.8V インテリジェント リチウム イオン バッテリ, または AC アダプタにより供給されます。バッテリは, 機器の側面から取り外すことができます。バッテ リのふたは, ロック ネジにより固定されています。

電源オン/電源オフ

電源をオンにするには:

1. 電源ボタンを押します。

[アプリケーションセレクタ] 画面が表示されます。この画面では, アプリケーションを起 動するか, [結果ファイルブラウザ] 画面に移動して前回のテストの結果を表示するこ とができます。

電源をオフにするには:

- 1. 電源ボタンを押して、電源オフメニューを開きます。
- 2. メニューで [シャットダウン] をタッチします。
- 3. [測定器をシャットダウンする。] ダイアログで [はい] をタッチします。

強制電源オフ:

AC アダプタを外して、機器の電源がオフになるまで電源ボタンを押し続けます。

電源ボタンのメニュー

電源オフのために電源ボタンを押すと開くメニューには、次の 4 つのメニュー項目がありま す。



アプリケーションの選択

多くの種類のアプリケーションを使用できます。種類は,機器にインストールされているオプ ションによって異なります。[アプリケーションセレクタ] 画面で対応するアイコンをタッチする ことで,関連するアプリケーションを選択します。



非表示アイコンの表示

初期状態のアプリケーション行に表示しきれないアプリケーション アイコンがある場合は, 該当の行をスクロールすることで, 隠れているアイコンを表示できます。

二重アイコン

実行できるアプリケーションは, OTN オプションの有無にかかわらず二重アイコンで表示さ れる点にご注意ください。

アプリケーションをOTNオプション付きで起動するには、アイコンの [+ OTN] の部分をタッ チします。

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動するには、関連するアプリケーション アイコンをタッチします。コネ クタ の図が表示されますので、コネクタをタッチして必要なポートを選択し、[選択] をタッチ します。

緑色のマークは, ユーザが選択したポートを示しています。赤色のマークは, 別のアプリケ ーションにより選択されているポートを示しています。 基本画面とナビゲーション

GUI には、アプリケーションのセットアップと実行のガイドが表示され、関連するポートを 先に設定してから、実際のテストをセットアップして実行するように求められます。次の画 面に移動するには、画面のボタンの角に表示されたタブをタッチします。

次の図に示すように、各種画面間を縦方向あるいは横方向に自由に移動できます。

各画面には、多くのサブ画面があり、画面の上部(画面の「ナビゲーション エリア」)に表示されたタブやボタンを使用してアクセスできます。

[ポート設定] 画面では, ナビゲーション エリアのボタンは物理ポート, 信号レイヤなどに 関連し, ポートに固有の設定パラメータを含む画面を表示します。



エラー/アラームの挿入, テストの開始/停止, レポートの生成などの全般的な機能は, 拡張 表示が可能なツールバーに配置できます。GUI には, そのようなツールバーが 2 つありま す。

- すべての画面で使用できる機器ツールバー。
- 特定のアプリケーションに関連する画面で使用できるアプリケーションツールバー。

ツールバーは、画面の右側に配置され、画面の右上角のアイコンを押すことで展開したり、 折りたたむことができます。アプリケーション画面では、展開されたアプリケーション ツール バー内から機器ツールバーにアクセスできます。



ツールバーで使用できる機能には次のようなものがあります。

\blacktriangleright	テストを開始します。	_0	機器情報を表示します。
	テストを停止します。	\$	機器を設定します。
₽	トラフィックの送信を開始しま す。		ファイルマネージャ
P.	トラフィックの送信を停止しま す。	??	ヘルプ画面を表示します。
	現在のテスト結果からレポート を生成します。		リソースモニタリング
22	エラー/アラームを挿入します。	×	現在のアプリケーションを閉じま す。

複数のアプリケーションの実行

異なるポートに割り当てられた, 複数のアプリケーションを同時にアクティブにすることができます。以下の3つの方法でアプリケーション切り替えを表示することにより, 各アプリケーションの進行状況を確認している間に, アプリケーションを簡単に切り替えることができます。

- [テスト設定], [ポート設定], または [測定結果] 画面の下部に表示されるアプリケーション名またはアイコンをタッチする。
- [アプリケーションセレクタ] 画面の下部に表示されるアプリケーションバーをタッチし 続ける。
- 電源ボタンのメニューから選択する。

^{ETH-BERT ≡} ナビゲーションボタン



後で使用するためのインタフェース/テスト設定の保存

インタフェースやテスト パラメータの設定の一部またはすべてを,後で使用するために保存できます。設定は,機器内部に保存されますが,USBメモリスティックを使用して別の機器に送ることができます。

言語の選択

GUIの言語は、機器ツールバーにある [Language] で選択できます。

リモート制御

ブラウザまたは VNC を使用して, PC からネットワーク マスタ プロをリモート制御すること ができます。

接続にはインターネットブラウザまたは VNC ツールを使用します。ブラウザの場合はポート 5800, VNC の場合はポート 5900 に接続してください。ブラウザには Java バージョン7 以 前を使用してください。Java 8 でのリモート制御はサポートしていません。

ブラウザの例: http://192.168.x.x:5800/

VNCの例: 192.168.x.x:5900

∨ アイコンをタッチして、リモート制御の有効/無効を切り替えることができます。

- 1. ポート 1, Tx Bantam (DS1)
- 2. ポート 1, Tx BNC (E1, E3, E4, DS3, STM-1e, STS-3)
- 3. ポート 1, Rx Bantam (DS1)
- 4. ポート 1, Rx BNC (E1, E3, E4, DS3, STM-1e, STS-3)
- 5. ポート 2, Tx Bantam (DS1)
- 6. ポート 2, Tx BNC (E1, E3, E4, DS3, STM-1e, STS-3)
- 7. ポート 2, Rx Bantam (DS1)
- 8. ポート 2, Rx BNC (E1, E3, E4, DS3, STM-1e, STS-3)
- 9. ポート 1, Tx/Rx RJ48 (E1 バランス)
- 10. ポート 2, Tx/Rx RJ48 (E1 バランス)
- 11. ポート 1, Tx/Rx SFP/SFP+ (SDH / SONET / OTN / Ethernet / FC 光インタフェース)
- 12. ポート 2, Tx/Rx SFP/SFP+ (SDH / SONET / OTN / Ethernet / FC 光インタフェース)
- 13. ポート 1, Tx/Rx RJ45 (Ethernet 電気インタフェース)
- 14. ポート 2, Tx/Rx RJ45 (Ethernet 電気インタフェース)
- 15. Audio
- 16. AUX
- 17. クロック入力
- 18. USB B

- 19. USB A 20. USB A
- 21. Ethernet サービス インタフェース
- 22. DC 入力 (18 VDC)



/Inritsu

アンリツ株式会社 Printed on Recycled Paper Printed in Japan